

埼玉県スポーツ推進計画 現状と課題

第 2 期計画（平成 30 年度～令和 4 年度）の達成状況

(1) 指標 1 スポーツを週 1 回以上行う 20 歳以上の県民の割合 65.0%以上

年度	29	30	R1	R2
割合 (%)	50.2	50.8 +0.6	53.2 +2.4	57.1 +3.9

【現状】 目標値 65.0%に対し、令和 2 年は 57.1%となっている。計画開始前年（H29）と比較するとプラス 6.9 ポイントであるが、目標達成には至っていない。

【課題】 スポーツをしない理由としては、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」が多い（43%R2 県政世論調査）ことから、日常生活の中にスポーツを取り込み、実施していくような提案が必要であると考えます。

※令和 4 年度に成人年齢が 18 歳となるため、次期計画では対象年齢を引き下げる

(2) 指標 2 組織運営の点検や評価を行い、運営改善を図る総合型地域スポーツクラブの割合 70.0%以上

年度	29	30	R1	R2
割合 (%)	47.4	66.3 +18.9	73.2 +6.9	77.1 +3.9

【現状】 令和元年度において目標を達成した。

【課題】 令和 4 年度から新たに総合型地域スポーツクラブの認証制度が始まるので、新制度にあわせて目標等を設定する必要がある。

(3) 指標 3 中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思う県内中学 2 年生の割合 80.0%以上

年度	29	30	R1
割合 (%)	65.7	66.4 +0.7	65.6 -0.8

【現状】 ほぼ横ばいの状況にある。

【課題】 子供の特性に合わせた指導を通じ、スポーツの面白さを実感できるようにしていくとともに、総合型地域スポーツクラブの充実など地域でスポーツができる場を設ける取組が必要である。

(4) 指標4 過去1年間に県内で行われたスポーツ大会やスポーツの試合を実際に会場で観戦する機会があった県民の割合 50.0%以上

年度	29	30	R1	R2
割合(%)	35.3	33.5 -1.8	33.5 0	29.6 -3.9

【現状】 微減している。

【課題】 コロナ収束を見据えて、魅力あるスポーツ大会の開催や県内のプロ・トップチームとの連携した取組をする必要がある。WEリーグやジャパンラグビーリーグワンなど新たなプロスポーツについても盛り上げていく必要がある。

(5) 指標5 スポーツイベントやスポーツの指導への協力等、スポーツに関するボランティア活動を行っている県民の割合 10%以上

年度	29	30	R1	R2
実施率	5.1	5.4 +0.3	6.6 +1.2	5.7 -0.9

【現状】 ほぼ横ばいの状況にある。

東京オリンピック・パラリンピックボランティアもコロナ禍により活動が大幅に縮小され、注目を集めることができなかった。

【課題】 スポーツをささえるボランティアの重要性ややりがいなど周知していく仕組みが必要である。

また、今後も積極的にスポーツボランティアの情報を県のホームページから発信していく必要がある。

(6) 指標6 国民体育大会における男女総合成績（天皇杯）3位以上

年度	29	30	R1	R2
順位	3	4	4	中止

【現状】 目標は未達成であるが、4位と健闘している。

【課題】 今後もスポーツ科学によるトレーニングや指導者の資質向上等の競技力向上施策の推進が必要である。

(7) 指標7 国際大会における埼玉県ゆかりの選手の8位以上 目標500人以上

年度	29	30	R1	R2
人	441	537 +84	375 -162	16 -359

【現状】 平成30年に目標値を達成した。令和元年、2年はコロナ禍による国際大会の減少により数値は大幅に低下している。

【課題】 上記6と同様、引き続き競技力向上施策の推進が必要である。